

第五十五回「大会」のお知らせ

日 時 平成二十八年五月二十八日(土)
十二時三十分～十五時三十分

会 場 日本女子大学人間社会学部
A棟二階第一会議室(西生田キャンパス)

大會日程

第一部 総会 (十二時三十分～十三時)

- ・会長挨拶
- ・平成二十七年度事業報告及び各部報告
- ・平成二十七年度会計決算報告・監事報告
- ・役員改選・承認
- ・平成二十八年度事業計画・予算審議
- ・その他

第二部 第二十回「学縁の集い」
(十三時～十五時三十分)

申し込み

準備の都合上、なるべく同封のはがきで
五月十三日(金)までにお申し込みください。
(申し込みなしでの当日参加も歓迎です)

※卒業生の方は、西生田キャンバス入構・スクール
バス乗車に身分確認用として、「革」送付時の封筒
をご持参ください。

◆スクールバスダイヤ

2015年度の土曜日用です。
2016年度は変わら場合があります。
ホームページでご確認ください。

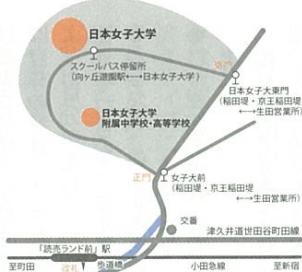
時	向ヶ丘遊園駅北口発			日本女子大学発		
8 18	30	43				
9 07	20	50	25			
10 10	22	42	05	20	50	
11 15	40		20	40		
12 00	15	45	07	30	40	57
13 00	15	40	20	40		
14 00	30		10	40		
15			15	30		

●京王線

- 『京王稲田堤』駅下車/
小田急バス(生田営業所行)約12分/
日本女子大東門または女子大前下車
- JR南武線
『稲田堤』駅下車/
小田急バス(生田営業所行)約12分/
日本女子大東門または女子大前下車

交通のご案内

- ◆小田急線 調査ランド前駅下車
徒歩15分
- ・新宿から急行25分
(向ヶ丘遊園乗り換え)
 - ・新宿から準急30分
- ◆小田急線 向ヶ丘遊園駅下車
北口3番停留所よりスクールバス
(所要時間約15分・無料)



そのような工夫を取り組んできています。去る11月28日(土)の理事会では、貴重な情報・教訓を発掘して在校生による活用に資すべく、学生委員の積極的な関与など、様々な工夫に取り組んできています。在校生が卒業生を訪問してお話を聞く「特派員制度」の創設案なども飛び出しました。どうぞ皆様積極的に総会にご参加されて、活発な意見をお寄せ下さい。

学縁の集いは、以前から存在するそのような工夫の一つで、昨年5月23日(土)に開かれた第一回の集いには、家政学科から転科して現在は東京都の公立幼稚園で活躍されている63回生、一般企業に就職後にNPO地域起業協力隊に転じて活躍している59回生、在学時から所属していたハレ工団で現在ソリスト兼指導者として活躍されている59回生、の御三名がそれぞれのキャリアと現在の様子をお話になり、在校生が熱心に聴講しました。卒業生と在校生のネットワーク構築に向けて有意義な集いでござ提案を歓迎します。

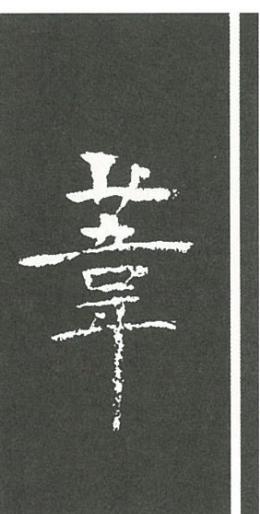
— 第68号 —
〒214-8565
川崎市多摩区西生田1-1-1
日本女子大学教育学科の会
電話 044(952)6870(代)
FAX 044(952)6889
ホームページ
<http://jwu-gakuen.net/>
メールアドレス
info@jwu-gakuen.net

**「教育学科の会
第五十五回大会」の
お誘い**

会長 岩木 秀夫

今年も、お一人でも多くの卒業生と在校生の生

皆様のご参加を願い、ご案内を致します。大会は第一部「総会」と第二部「学縁の集い」で構成されています。総会は、この会の実績を共有し、これらの活動方針を決定する大事な機会です。



博学連携のすゝめ

教育学科特任教授 東原 信行

博物館は、美術館、水族館、植物園、動物園等と同様に、地域にある社会教育施設です。どれも有益、貴重な教育資源です。「博学連携」とは、学校と博物館が連携・協力し合いながら、子どもたちの教育を推進していくことをする取り組みです。学校とこうした地域の方々や地域の施設との関わりは、「学社連携」「学社融合」と呼ばれてきました。「博学連携」はその二つの形態です。博物館を「もう一つの学校」として位置づけることによって、子どもたちの学びの場や内容を広げることが出来ます。博物館には学芸員等の専門家があり、教科書では見られない実物や本物の教材が展示・収蔵されています。このことを踏まえると、学校が博物館を活用することで得られる効果には、次の三点が考えられます。

一点目は、博物館の利用によって、教育活動の充実が図れます。教師の話や準備した教材をもとにした学習と比べ、実際に実物を見たり触ったり、専門家からの説明を聞いて学ぶ方がはるかに高い教育効果を期待できます。

二点目は、子どもたちの学校教育を充実させるだけでなく、博物館を生涯にわたって利用・活用しようとする意欲や態度の基礎を養うことです。博物館の利用・活用の仕方を学んだ子どもたちは、将来様々な社会施設で活用し、生涯にわたって学習に取り組むことができます。三点目は、学校と博物館等の地域の施設や地域の方々が一体となって、子どもたちの教育を推進することができます。

今、博物館には、急激な時代の流れや社会の変化の中で、厳しい経営・運営環境のもと、「資料」の収集、調査研究、保存活用を通じて、市民が自然や生物、歴史、文化に触れ、よりよい地域づくりに努めることが求められています。また、ユバーサルデザインを取り入れた「誰にでもやさしい博物館の在り方」も模索しています。川崎市では、市教委文化財課と川崎市民ミュージアムが連携して、子どもたちに来場してもらうだけでなく、学校と博物館の双方が「子どものために」を合言葉に、各々の特質を發揮し、考えを出し合いながら連携・協力して体制を築き事業を推進していくことが重要です。

ホームカミングデー 日本女子大学学術交流研究事業 講演会・シンポジウムの報告

昨年十月十七日（土）講師に多田孝志先生（目白大学教授・対話論・国際理解教育）、寺本潔先生（玉川大学教授・社会科教育・生活科教育）、シンボリストに入野貴美子先生（東京都江東区立明治小学校校長・日本女子大学非常勤講師）、葉倉朋子先生（川崎市立東小学校長）、田部俊充先生（教育学科特任教授・前東京都八王子市立長池小学校長）をお迎えしての講演会・シンボジウムが西生田で開催されました。

在学生、卒業生、教職員、一般の方々が七〇名近く参加され、「授業を創る」力をどう育てるか、学校や地域と連携



*田部俊充教育学科長の趣旨説明

現在「授業力」を高めるために私学の独自性のある教員養成が求められており、そのキーワードは「学校や地域との連携」「個性を活かす」です。学生や現場の教師の支持絶大な多田先生、寺本先生には「伝え合う力が育つ授業を創る」という点に焦点を当ててご講演いただきます。後半はシンポジストをお迎えし、学校や地域と連携しながら教育学科の特色を十分生かしていくような教員養成の方向性についてみなさんと考えていきたいと思います。

*多田先生のご講演

◆基本理念としての共生

私は授業力を考えるときの背景について少し深く考えてみたいと思います。みなさんは、「生きる」とは何かを考えてみてください。「共生（ともに生きる）」とは何かを考えてみてください。共生とは多様な他者が時空を共有することであり、互いの個性を尊重しつつ、ときには恐れ、戸惑い、葛藤、対立などもあるうが相互に影響し合い、新たな解や智慧を共創し、ともに何かを変えていく。さらには出会う前には予想しなかった知的世界を共創していく。「こうした状態を「共生」と呼ぶ」とこします。

◆グローバル時代の人間形成

多様性・関係性・自己成長・変革力・当事者意識と主体的行動力・共感・イ

した特色ある教員養成のありかた」についての様々な提言に一同熱い思いを感じました。一部抜粋してお伝えします。「田部先生を中心に企画されたこのテーマが、教育学の分野で研究をリードされているお二人の先生をお迎えして議論されることは本当に嬉しく思う。」という教育学科の会長の岩木秀夫先生のお言葉で開会されました。

メージ力が必要です。関係性で考えると相手の意見に論理性があるかを考え、自分の意見を一度とどめて深く考えてから返す力が重要です。人の意見を受け止めてどういうふうにとらえたか、従前の仲良くしまじょうだけの関係ではなく、きちんと物が言えるという意味での関係性です。多様性についても単に多様であればいいというだけでなく、多様性の中のマイナス面も引き受けられるような様々な意味での多様性、あるいは自分の意見を持ちながらも他者の意見について自分が変わつていてもいいという柔軟性。それらのことを含めて関わってきてつまることろは、何かをともに作る力です。

◆二一世紀の市民を育成するための授業とは？

◆対話力の重要性と教員養成

私は韓国の文化は混ざる文化ですねと言ったら、ソウル大学の先生は日本の文化は載せる文化だと言いました。天丼かつ丼寿司など。多様なことがむしろおもしろい。私たちは異質との共生時代に住むのだということですね。授業づくりにおいても子ども達が、異質な意見を言ったときに、先生の手のひらに乗った意見ではない違った意見に喜びを感じて、先生も子どももお互いに言い合います。そういう授業に国際教育、あるいはグローバル教育の理念がつながっていくと思います。その中で既定の智を超えた智。知恵を超えた新たな解を作り出すことがこれから授業に求められているのではないかと思います。

どういう対話力をうけるかと言つたときに大事なことは多様性の尊重ということですね。つまり人はいろんな資質を持つているのだということをわかつてやらないと対話はできない。優秀な子が中心にしゃべっているだけではしゃべれない子にどうては対話をすることは苦痛になってしまいます。そういうことが分かる教員が必要だと思います。私自身が追及しているのは学習者主体の授業をどうするかということです。教育で一番大切なことは事実として学習者の力を伸ばすことですが、これはから授業に求められているのではないかと思います。

私は授業づくりにおいて身体性と現場性がとても重要だと思っています。現場に行くことによって事実を深く認識できたり、本質に気づかされたりします。また、五感で感じたことが意欲につながっていきます。何で日本の子どもたちがあんなに勉強することが嫌になつたのでしょうか。学ぶことは楽しいことであります。知的世界を作る喜びを味わうことだという意識がもつとあつていい

と思います。友達との関係がうまくいかない子供が、羊の世話を通じて、友達と親しくなる。スピーチのときに、羊というのはお腹の毛と背中の毛と尾っぽの毛は全然違うんだよという話を友達にしたら途端にスケートになる、このような教育のあり方がもうあっていいと思っています。また、自分で判断して行動する力をつくるような授業を私たちは意図的に作らなければなりません。ただ、主体的に学ぶ学びを作るプロセスとか手法を指導できる先生はそんなにいません。それは今後の教員養成の大きな課題であると思います。

なかなか学ぶ機会がありません。学生たちに実践に使えるような形に落とし込んでいくというのは教育実践団の使命だと思います。また日本の授業の中に足りないのは沈黙です。内在化の時間が必要です。沈黙の時間をどう取り入れるかが授業名人に至る道だと思いますし、そのことが思考力の向上につながると思うのです。これからの教員に必要なのは同僚性とメンタリズムです。一人で一時間の授業を作るのが基本ですが、同時にいろんな人とともに何かを作る力がこれから教育を作っていくのです。高い志でしかも時代の変化に対応できる授業づくりができる教員を育ててほしいと思います。

*寺本先生のご講演

◆生活科や社会科、総合的学習の意義

私の学生時代からの専門は地理学で、外を歩きまわって考える学問です。プラタモリのファンです。教室の中で思索を巡らすだけでなく、現実の社会の中にいろいろな学びの素材があります。そういう題材を教室に持ち込めば子どもたちも生きた学びができるのではないかでしょうか。そういう思いでカリキュラムを作つてきました。総合的な学習の時間はあまり大きな花を咲かせることがなく現在に至っていますが、アクティブラーニングという言葉が登場するに至つて総合的な学習そのままだと思いました。アクティブラーニングの最も最たるものはフレードワークです。これを忘れたら学びのないご味は半減します。でも、子どもは公園の落ち葉がきれいに掃除されていても、川がゴミで汚れていても、「もともとそういういたもの」という感覚で眺めています。生活科や社会科、総合的学習はそのぼんやりと眺めている世界を子ども自身が「見える」ように手助けする役割を担っています。実践してきた6年生の「町改造計画」では、実効性ある町づくり提案に高めるま

で、子ども達は自分に引き寄せて物事を考えていきます。教育界ではこれを自分事と言っています。

◆町づくりへ参加する子ども達

文部科学省から新設教科「町づくり科」を認めてもらい、香川県琴平町などで小中連携で展開してきました。発達段階を考慮した学習プログラムは愛着→共感→参加→提案の四段階です。町への愛着、人への共感を深め、地域で考えて質的な高まりをもたらすようカリキュラム構成を組ませてきました。私は「子どもは小さな町づくり人」と位置付けで推進してきました。子ども達が町づくりに向かって学びの姿を地域で見せることがで周りの人たちが変わってくる。町づくりの仲介者エージェントとして子ども達の姿がとらえられるようになるのです。商工会が変わり、市役所が変わる。子どもが動けば町が変わっていける。地方創生の新たな動きになるのではないでしょうか。

◆これから授業づくりと教員養成

しかし、地域に出かけていくことができる先生が多いように思います。歩いても発見できない教員もいます。生活体験が萎えていくのでしょうか。フィールドワーク指導技術というのは優れたフィールドワーカー指導者が多いように思います。歩いても発見できない教員もいます。生活体験が萎えていくのでしょうか。フィールドワーク指導

し、通学路を共有することができます。自分の体験した場所、気づきをいかに可視化できるかというのは教育技術として大事なことです。教員養成からの提案ですが、教員養成大学は小学校に何が提供できるか。小学校のニーズは何なのかを考えるとよいと思います。大学側も「うしてほしいといふことがあるでしょう。この二つがマッチングできないと町づくり学習などは成功しません。子ども達も伸びていません。私は全国の教育界で地元を見直し、地元活性化に寄与する教育を起こしていく必要があると思うのです。ぜひ、地方を歩いてほしいです。素材はいっぱいあるので、その中から何を選んで法論さえわかれれば後は推進する熱意のある教員や校長がいるかないかで、学校が地域に開かれたものになるかならないかが決まると思います。それに様々な教育技術が加わっていきます。今こそ地域に開かれた多様な対話がはぐくまれる、伝え合う授業が大きく動き出すのではないでしようか。教室の中に閉じこもつていてはアクティブラーニングは成功しません。校外に出かけて初めてアクティブになるのです。学校の外に本当の教材があるので、おっこうだなあと思わず

- ・野田不二夫先生は、「優秀なのにかなりの先生が退職している現状を見て、若い先生方に①新聞を読んで情報をしきりつかんで、自分の教育観を持つほしい。②自分の意見を持ち、発言をしてほしい。自分の教育観や教育哲学をもつていい。③黒のリクルートスープばかりではないと、最後まで教員を続けるのは難しい。④勇気をもって自分らしさを出してほしい。」
- ・田部俊充教育学科長が、「今も学校現場とのつながりを大切にされているトップランナーの多田、寺本両先生のお話に刺激を受けた。地域の方々に支えられて、行つてきたインター・シップなど地域との連携作業が一〇年続いてきたことに感慨を覚える。教員養成における私学の立場は厳しいが、私学どうしタグマッチを組んで素晴らしい教員養成の姿を作り上げていくことが必要なではないか。」とまとめられて、講演会・シンポジウムが終了しました。

*シンポジストの方々から

- ・入野貴美子先生は、「やはり大学と小学校の双方向であることが大事だと思思います。例えは通学路を書かせるときに短冊の用紙を使うと成功

にまとめる。自分なりの哲学にしてまとめる。それが広く哲学として応用できるようになつていくのが理想。教員としての生涯の役割を大学が考えていた、だきたいと思う。」

・葉倉朋子先生は、「インターナシップの学生たちは、子どもとの関わり、研究授業参観などに関わり三年間で大きくなり成長した。教員志望の人へ伝えたいことは、①失敗体験をもつて教員になってほしい。②子どもが集まる集団に関わってほしい。③自分で動く教員になってほしい。大学とは教育活動のアシスタントとして学生の方と連携できたらと思う。」

・最後に田部俊充教育学科長が、「今も学校現場とのつながりを大切にされているトップランナーの多田、寺本両先生のお話に刺激を受けた。地域の方々に支えられて、行つてきたインター・シップなど地域との連携作業が一〇年続いてきたことに感慨を覚える。教員養成における私学の立場は厳しいが、私学どうしタグマッチを組んで素晴らしい教員養成の姿を作り上げていくことが必要なではないか。」とまとめられて、講演会・シンポジウムが終了しました。

懇話会 片桐芳雄氏を迎えて
「成瀬仁蔵の歩んだ道」
日本女子大学誕生と
広岡浅子とのつながり



二〇一五年十一月二八日(土) 目白キャンパスに、日本女子大名誉教授で成瀬仁蔵研究に造詣が深く、ご活躍中の片桐芳雄氏をお迎えして懇話会を行いました。歯切れ良い、ユーモア溢れる片桐氏の語り口に引き込まれ、あつという間の一時間でした。予想を超える八十名以上が参加され、教室中に熱気が溢れ、みな様の成瀬仁蔵、広岡浅子に対する思いの深さを感じました。講演後もご意見やご質問の交流があり、充実したひとときでした。一部抜粋してお伝えします。

*「遅れてきた青年」成瀬仁蔵

成瀬仁蔵の歩んだ道を主としながら、それに広岡浅子がどう関わったかお話していきたいと思います。「遅ってきた青年」は大江健三郎の小説のタイトルです。成瀬仁蔵は一八五八年に毛利一族の家臣の子として山口県吉敷で生まれました。討幕が起こった時、吉敷からも仁蔵のいとこや先輩たちが討幕軍に参加しました。当時七、八歳だった成瀬は参加できませんでした。もっと年上だったら参加できたのにという悔しさ、情けなさがずつと、「一生あつたのではないでしようか。」「遅てきた青年」というのはそう

いう意味です。同時にもう一つ「遅てきた青年」には、明治政府の為に命をなげうつた人たちの背中を見る年下の特権というのもありました。あれだけ命をなげうつて明治政府を作つたけれども、でかいがつたものはちょっと違うのではないかという思いを成瀬は思い描きながら、明治の元勲たちを冷静に客観的に眺められた代的なポジションを得ることができます。これが極めて重要なことです。成瀬自身、回想の中で日本女子大学校の卒業生たちに正直に次のように言っています。「私も男の一匹であつて Ambition があつた。・・・自分も人と生れたのであるから、大に志を立てゝ世界を動かすよーな事を仕たいと思ひました。」(桜楓会二二) 1905年11月12日

*アメリカ留学と女子高等教育への決意

成瀬はいつたん山口県教員養成所に入りましたが、世界を動かすという想いと小学校教員とでは相当なギャップがありました。そこへアメリカに留学した故郷の先輩澤山がパウロと名を変えて日本にキリスト教を布教するために帰っていました。そういう生き方があるのかと、成瀬はショックを受けました。世界を動かすような志を遂げるためにはキリスト教に入信して世界日本を動かすようなそういう仕事をしたい。これこそ私の Ambition を満足させる生き方だと思いまして、洗礼を受け入信し、大阪で澤山が梅花女学校を作るのに積極的に協力をしました。あらゆる教科を担当し、ほとんど一人で学校の運営に当たりました。成瀬は「女子教育」の第一回「女子教育の方針」に「之を要するに、今後の日本の女子高等教育の方針は、(第一) 女子を人として教育する事、(第二) 女子を婦人として教育する事、(第三) 女子を国民として教育することは是れなり。」とあります。

*「女子教育」の出版(1896年)

『女子教育』の第一回「女子教育の方針」に「之を要するに、今後の日本の女子高等教育の方針は、(第一) 女子を人として教育する事、(第二) 女子を婦人として教育する事、(第三) 女子を国民として教育することは是れなり。」とあります。『女子教育』は明治二九年に出版されました。みんな耳にタコができるくらいの最初の女子教育との出会いです。服部満寿枝と結婚して、さらに梅花女学校教員を辞し、牧師となつてキリスト教の伝道活動に専心します。最初は大和郡山で、その後新潟に派遣されました。そこでキリスト教界内部の問題に巻き込まれ

ます。アメリカの実情を見てみたいといふ思いが強くなり、留学を決意しました。アメリカに到着した成瀬は、留学する三年間をどう過ごすか計画を立て奥さんにお手紙で報告をしました。そして成瀬は女子大学を作ることを秘かに決意しました。三年目は女子大学を作ることをはつきり決めてそのための情報収集をし、具体的な構想を練りました。そのメモは「女子教育の方針」というタイトルで成瀬記念館に残っています。留学して半年ぐらいために次のことを日記に書いています。「・・・吾天職ハ婦人ヲ高め・・・アイデアルホーマー造らせ・・・理想社会ヲ造ルニアリ。(人類改良モアリ)」(日記) 1891年8月10日 婦人を高めて理想の家庭を作つてそれをもとにして理想の社会を作る。そして世界中の人類を変えようという、まるで誇大妄想ですね。自分がこれをやるんだということを幾度か日記に書きつけ、苦しい貧しい留学生活を耐えていたと思います。そして日本へ帰つてきました。

*「広岡浅子とは?

この本を読んで非常に感銘を受けたのが広岡浅子です。炭鉱でこれを読んだ女性の状況だつたからです。一八四九年に広岡浅子は生まれました。これまで広岡浅子についてはあまり知られていませんでした。成瀬の一〇歳以上です。三井家の娘様ですね。三井家は江戸時代からの豪商です。二歳の時から決まつていた相手広岡信五郎と結婚します。二〇歳ごろから実業界に入り、二四歳ころから北九州飯塚にある潤野炭鉱経営をし、二八歳で長女亀子出産。四十歳で加島銀行を創立するなど実業家として活躍し、その後日本女子大学校創設に向けて成瀬を支援し、情熱を注ぎます。

*日本女子大学校の創設

「日本女子大学設立の趣旨」(一八九六

年（一九七七年）は、いわば『女子教育』を一～二ページにまとめた文章です。「而して吾人が女子大学校を創設するや徒に帝国大学に頼頼せんとするが如き浅慮に出でたる妄策を企てるに非ざるなり。」当時の大学は男子しか入れない東京の帝国大学しかありませんでした。それに対抗しようとは思わないけれど、わざわざ言いながら、どこか対抗しようという意識があります。成瀬は、いわば日本で二番目の大学を作ろうとしたのです。（その後京都帝国大学が出来たので、実際は三番目）そして日本・女子・大학교といふ、わかりやすい単純な名前になりました。

『女子教育』を読んだ広岡浅子の感想、受け止め方というのが、次の文に書いてあります。「丁度私が四十五六歳の時、或る知人の紹介で、成瀬仁蔵氏から、我が国に女子高等教育の必要なる由を説かれました。これこそ私が少女時代から寸時も念頭を離れなかつた我が國女子を哀れな境遇から救はんとの熱望を果さるべき光明であるかのやうに見えました。」（『一週一信』7/9/9頁）浅子の実家の三井家が自白ギャンパス五五〇〇坪を寄付してくれ、これを仲介したのが浅子です。実家に成瀬の言つてていることは素晴らしいことだらけひ応援してあげてと頼んだのです。また浅子は日本女子大学校ができたときに洋書を寄付しました。三泉寮開設にも三井家が尽力し、開寮式の成瀬の挨拶に浅子を名誉寮監とするという言葉も入っています。浅子は女子大学にときどき来て生徒に話をし、成瀬より十歳年上で態度も大きかつたようですが、乳がんの手術をします。「恰もその年（乳癌手術の年・片桐）の暮れに大阪教会の

牧師宮川経輝氏の指導を受くる事になりまし。」成瀬仁蔵氏と女子教育の意見につき、少しく論議を開はしますと、成瀬氏は宮川牧師を顧みて「此の御婆さんはどうも仕方がない、君教育してくれんか」と申したのが縁となり、数日経てから宮川牧師は態々私の家を訪ねて下されたのでした。」（『一週一信』13頁）後に浅子は宮川牧師によつて洗礼を受け、クリスチヤンになりました。

*帰思想

成瀬が晩年に到達した宗教観とは何でしょうか。一九一七年に軽井沢で十日間にわたつて学生たちに話した記録が「軽井沢山上の生活」に残されています。この中に成瀬の最後の境地が表れてます。その中で非常に重要なのは次の文だと思います。「この吾人の心の根底に憧憬しています。而してこれは宗教上にいてふたりに止まない至上人格は宗教の実質となるべき本質なる人間と、其の偉大なる者との間に友情の関係の出来得る実在者である。即ち瞑想よつてその目的あり意志あり感情あり思想ある神を認め得ることが出来るのである。實にこの神の実現を研究し認識するのは瞑想によるのである。要するに吾人には神性仮性がある。これが相共通し、大生命に到るといふ信念を持じ得るのである。即ち吾人の信念生活の経験とは神と吾人とその二者の間にOnenessを意識し、直接にその感想を受け同一生命に連なることをいふのである。」

成瀬の「軽井沢山上の生活」は、成瀬の「家庭雑報」430号、「著作集」第3巻512頁、ルビ原文言つてゐることは難しく、宗教観なので複雑で分かりにくいと思いますが、最後に到達した境地や宗教観は意外に單純なものだと思います。この世界には至上人

格というものがあり、至上人格は、神と言つてもいい。私たち人間は努力すれば、その至上人格に近づくことができる。あるいは瞑想すれば、其の存在を感じ得する。だから私は仕方がない、君教育してくれんか」と申したのが縁となり、数日経てから宮川牧師は態々私の家を訪ねて下されたのでした。」（『一週一信』13頁）後に浅子は宮川牧師によつて洗礼を受け、クリスチヤンになりました。

成瀬が晩年に到達した宗教観とは何でしょうか。一九一七年に軽井沢で十日間にわたつて学生たちに話した記録が「軽井沢山上の生活」に残されています。この中に成瀬の最後の境地が表れてます。その中で非常に重要なのは次の文だと思います。「この吾人の心の根底に憧憬しています。而してこれは宗教上にいてふたりに止まない至上人格は宗教の実質となるべき本質なる人間と、其の偉大なる者との間に友情の関係の出来得る実在者である。即ち瞑想よつてその目的あり意志あり感情あり思想ある神を認め得ることが出来るのである。實にこの神の実現を研究し認識するのは瞑想によるのである。要するに吾人には神性仮性がある。これが相共通し、大生命に到るといふ信念を持じ得るのである。即ち吾人の信念生活の経験とは神と吾人とその二者の間にOnenessを意識し、直接にその感想を受け同一生命に連なることをいふのである。」

*アンケートより

・ 大変興味深く伺いました。母親に早く死なれ、妻とも離婚死別している成瀬にとつて、広岡浅子は母のような姉のような、大きな態度はとられても心から信頼し、心を許せた唯一無二の存在。そうであつたらよかつたと思つています。最後の成瀬の宗教観にも心から賛同します。

・ 中学から附属に学び、成瀬先生のことを度々学ぶ機会はありました。この年齢になつて聞くお話は感性の別の部分からも入つてきます。後半の宗教観のことなど、これからも学びたいと思います。先生のお話は親しみやすく、わかりやすく、楽しい時を過ごすことができました。

*至上人格である神と人間との一体化

内なる神性仮性、成瀬の宗教観を今後も学んで生きたいと改めて考える機会を得ました。井上洋治神父様の書からも死とは「屈辱、焦燥、恐れとの闘い」を祈りによつて安らかに受け入れる過程を読み、またこの五月母の看取りから体感し、今後の生き方死に方を探求したいと思っています。

・ 本日片桐先生より成瀬仁蔵先生のお話を伺うのも三回目になりました。「あさが来た」のドラマも佳境に入り、間もなく成瀬先生も登場となるのでしょうか。志の高さに改めて本学で学べたことを誇りに思います。

退任される先生のお話

2016年(平成28年)3月20日

教育学科の会だより

今年度をもつて日本女子大学を退職されることになりました岩木秀夫先生と東原信行先生にお話を伺いました。

岩木秀夫先生



*日本女子大学で印象に残っていることを教えてください。

女性らしい魅力を持ち、細やかな気遣いができるうえに、課題を与えるとしっかりとこなすという、他の大学も羨むようなもの

学生は持っていて、まさに両手に花を持っているような印象でした。ある卒業生が、「日本女子大学の学生は、男性の結婚相手として丸の内の大手企業に人気」と話していて、とても納得しましたね。

学生は持っていて、まさに両手に花を持っているように驚かれた。私は赴任したのは開設されたばかりの人間社会学部でしたが、これが大学自治だと言わんばかりに教授会の議論が活発で、「新大陸」というイメージを持ちました。

*大学での教員生活で大切にしてきたことを教えてください。

学校と大学、そして社会と大学は違う場所であることを意識していましたね。

私が赴任したのは開設されたばかりの大学で、大学紛争時代のよのびやかなイメージがあつたので、大学紛争時代のよのびやかなイメージを壊したくなかったのです。大学は成長の過程であると思っていて、失敗しても、本人に責任があるということに気づいてもらえていました。私の授業は出席を取り入れようとしていました。私の授業は出席を取っていましたが、学生の自由を尊重するためのことわざからそのようにしていました。

*なぜ、教育社会学を志したのですか。

私の教養学部(駒場)時代は入学して半年後から学生紛争の真只中でした。学校へ行くと授業ではなく、クラス討論ばかりで、級友達は私

*最後に、教育学科の学生にメッセージをお願いします。

岩木先生から見て、教育学科の学生はどのような見えましたか。

岩木先生から見て、教育学科の学生はどのような見えましたか。

岩木先生が赴任したのは開設されたばかりの大学で、大学紛争時代のよのびやかなイメージを壊したくなかったのです。大学は成長の過程であると思っていて、失敗しても、本人に責任があるということに気づいてもらえていました。私の授業は出席を取り入れようとしていました。私の授業は出席を取っていましたが、学生の自由を尊重するためのことわざからそのようにしていました。

*最後に、教育学科の学生にメッセージをお願いします。

岩木先生が赴任したのは開設されたばかりの大学で、大学紛争時代のよのびやかなイメージを壊したくなかったのです。大学は成長の過程であると思っていて、失敗しても、本人に責任があるということに気づいてもらえていました。私の授業は出席を取り入れようとしていました。私の授業は出席を取っていましたが、学生の自由を尊重するためのことわざからそのようにしていました。

岩木先生が赴任したのは開設されたばかりの大学で、大学紛争時代のよのびやかなイメージを壊したくなかったのです。大学は成長の過程であると思っていて、失敗しても、本人に責任があるということに気づいてもらえていました。私の授業は出席を取り入れようとしていました。私の授業は出席を取っていましたが、学生の自由を尊重するためのことわざからそのようにしていました。

東原信行先生



*日本女子大学で印象に残っていることを教えてください。

はじめの質問でも述べたとおり、両手に花を持つている学生のよう見えました。女性らしい魅力を持ちながら、課題を与えるときちんとして「なんどこんなに仕事が出来るのか」というように驚かれていました。私は紅葉が綺麗ですが、春には桜やうぐいすの鳴き声が聴こえてきたりと季節を感じます。はじめの質問でも述べたとおり、両手に花を持つている学生のよう見えました。女性らしい魅力を持つていて、何事にも一生懸命に立ち向かっていると感じるので、そこがとても好ましいですね。また学生同士仲が良く、多感な青春時代を送っている若者としてすごく良いと思います。特に教採に関わっているので学生の様子を見ていると、グループ学習をしていたり、学生同士みんなで一緒に試験を乗り越えようという雰囲気が見られますね。ライバル同士でもあつても共に頑張れるというところが「ユニケーション」がよく取れているのだなと思います。

*最後に、教育学科の学生にメッセージをお願いします。

東原先生が赴任したのは開設されたばかりの大学で、大学紛争時代のよのびやかなイメージを壊したくなかったのです。大学は成長の過程であると思っていて、失敗しても、本人に責任があるということに気づいてもらえていました。私の授業は出席を取り入れようとしていました。私の授業は出席を取っていましたが、学生の自由を尊重するためのことわざからそのようにしていました。

*最後に、教育学科の学生にメッセージをお願いします。

岩木先生が赴任したのは開設されたばかりの大学で、大学紛争時代のよのびやかなイメージを壊したくなかったのです。大学は成長の過程であると思っていて、失敗しても、本人に責任があるということに気づいてもらえていました。私の授業は出席を取り入れようとしていました。私の授業は出席を取っていましたが、学生の自由を尊重するためのことわざからそのようにしていました。

*なぜ、教育社会学を志したのですか。

私は今回のインタビューで初めて岩木先生とお話ししました。以前に授業を受けていたときはとても真剣な表情をなさっていたので、ストイックな先生という印象だったのでした。しかし今近い距離でお話ししたところ、とてもよく笑っています。

*なぜ、教育社会学を志したのですか。

私は今回のインタビューで初めて岩木先生とお話ししました。以前に授業を受けていたとき

には理解不能の意見を戦わせていて、私は脱落してアングラ学生劇団の周辺をワロチヨロしたりのフーテン暮らしでした。紛争前も一般教養科会、社会教育の3択でした。農業経済は外したもの、教育社会と社会教育は内容の区別が付かず、「教育」という言葉が先に来ているからという理由で教育社会学を専攻しました。そんなたらしくない学生でしたから、学部卒業と会、社会教育の3択でした。農業経済は外したもの、教育社会と社会教育は内容の区別が付かず、「教育」という言葉が先に来ているからという理由で教育社会学を専攻しました。そんなたらしくない学生でしたから、学部卒業と会、社会教育の3択でした。農業経済は外したもの、教育社会と社会教育は内容の区別が付かず、「教育」という言葉が先に来ているからという理由で教育社会学を専攻しました。そんなたらしくない学生でしたから、学部卒業と会、社会教育の3択でした。農業経済は外したもの、教育社会と社会教育は内容の区別が付かず、「教育」という言葉が先に来ているからという理由で教育社会学を専攻しました。そんなたらしくない学生でしたから、学部卒業と会、社会教育の3択でした。農業経済は外したもの、教育社会と社会教育は内容の区別が付かず、「教育」という言葉が先に来ているからという理由で教育社会学を専攻しました。そんなたらしくない学生でしたから、学部卒業と会、社会教育の3択でした。農業経済は外したもの、教育社会と社会教育は内容の区別が付かず、「教育」という言葉が先に来ているからという理由で教育社会学を専攻しました。そんなたらしくない学生でしたから、学部卒業と会、社会教育の3択でした。農業経済は外したもの、教育社会と社会教育は内容の区別が付かず、「教育」という言葉が先に来ているからという理由で教育社会学を専攻しました。そんなたらしくない学生でしたから、学部卒業と会、社会教育の3択でした。農業経済は外したもの、教育社会と社会教育は内容の区別が付かず、「教育」という言葉が先に来ているからという理由で教育社会学を専攻しました。そんなたらしくない学生でしたから、学部卒業と会、社会教育の3択でした。農業経済は外の

ていらっしゃって、また、学生への親心のような愛をお話の随所で感じました。

そんな岩木先生が大学を離れてしまうのは非常に寂しいですが、先生の愛情に応えられるよう私たちももりの大学生活を送りたいと思っています。

(学生委員3年 飯塚有沙子・小島早織)

生活のことなどの様々な悩み、卒論関係の悩みについて相談に乗っています。現場で経験を積んだ教師が一人いるので、それぞれ得意分野を生かして心地よいです。

教職を目指す学生が一番沢山来るのは教養学部時代の成績は最悪で、紛争が終わって専門(本郷)に進級する時に学務課から呼んで示された選択肢は農業経済、教育社会

が本郷で、教育社会と社会教育は内容の区別が付かず、「教育」という言葉が先に来ているからという理由で教育社会学を専攻しました。そんなたらしくない学生でしたから、学部卒業と会、社会教育の3択でした。農業経済は外の

生活のことなどの様々な悩み、卒論関係の悩みについて相談に乗っています。現場で経験を積んだ教師が一人いるので、それぞれ得意分野を生かして心地よいです。

教育学科の会では会員の皆様の短歌・川柳を募集しております。

教育学科の会HPにて発表いたします。

HPに投稿いただくか、同封の返信ハガキまたは官製ハガキで教育学科中央研究室内・教育学科の会(〒214-8565 川崎市多摩区西生田1-1-1)までお送りください。

HPの「会員のページ」に入るためのID・パスワードは、お名前・回生をご連絡いただければお教えいたします。たくさんのご応募、お待ちしております。

*最後に学生たちにメッセージをお願いします。

まず、皆さんが今持つている何事にも前向きに取り組む姿勢をこれからも大切にしていくください。いろんな困難や・体の不調・時代の変化もありますが、「一生懸命立ち向かっていくほしいです。次に広い視野を持つてください。」口からを考え、グローバルに動くことです。ペースは日本でも、様々なことが世界につながっているという認識でぜひ世界に発信していくください。そして、気付く人間になつてほしいです。人と話し合う・ミニミケーションをとるなど、いろんなことをしていく中でぜひ気付きを大切にしてください。最後に、五感を使うことです。機械に頼り過ぎず、自分の五感や感性をベースにした思考を磨いていくください。そして何よりも健康に気を付けて頑張ってください。

*教育支援室にて、東原先生はいつでも温かく学生を迎えてくださいました。今回お話を伺えたことを大変幸せに思います。ありがとうございました。

(学生委員3年 小池真結 近藤奈穂)

ながら振り返る楽しさ、という三段階で学びがあるのが旅の良いところですよね。以上これらのこと意識してきましたが、何よりも教員の命は授業です。皆さんも様々なことに気付きながら、良い授業を創つていってください。

会員の広場 私、おはなしおばさん

33回生 竹内 さち子

「今」でもなく「ここ」でもないところの「おはなし」が始まります。

語り手と聞き手の両者がいて成立する「おはなしの世界」です。私は、ボランティアで素話を地域の子どもたちにしている「おはなしおばさん」のうちのひとりです。素話に出逢ったのは二十年近く前にさかのぼります。転居等で中断し、宇都宮に戻つてから、図書館で行われている勉強会に再び戻りました。転居以前は三年弱、戻つてから三年目! 「会」の中では、経験が浅く歳を重ねた新人のようなのです。(笑)

素話の世界では、とにかく「おはなし」を聞くこと!これが一番大切ですし、一番楽しいことです。図書館では、いろいろな会の勉強会があり、結構「おはなし」を聞く機会があります。それぞれ別の会ですから、同じおはなしのこともあります。たとえ同じおはなしでも、語る人によって違いますし、聞いている私自身の気分でも違います。不思議です。

「ちいさなほくさい」というおはなしがあります。小さな白菜は、畑のそばにある大きな柿の木に見守られ、他の白菜たちと共に育ちます。積み込まれれるのですが、小さな白菜はまだ畑にいます。春はそこまでできているのに、小さな白菜はまだ小さいまま。何回目かの収穫の時、トラックのお兄さんが「おまえはここで春を持つてな。花を咲かせて、蝶々と遊びな」と言つて行つてしまします。春といふものを知らない

この「おはなしを聞く」樂しさを充分味わつてから次にすること!それは、何を覚えたのか、語りたいのかを、数多くあるテキスト、もしくはたくさん聞いたおはなしの中から、見つけることです。

東京在住の頃、「絵本の読み聞かせ」「ブックターキー」のボランティアをしていました。様々な講習があり、「素話」に関するものもありました。小澤俊夫先生はじめ多くの先生のお

す。やがて、春が来て、小さな白菜が小さな白菜ではなくなつて花が咲きます。透き通る風によつて花が散る様子は、光が飛び散るよう美しい。蝶々があいさつに来て白菜もあいさつを返し笑います。

このおはなしを「素話」を知つばかりの頃に聞いた際、かわいいおはなしだなあ、優しいおはなしでしたなあ……と思いました。その後、大阪・東京等に住み、二十年近く過ぎ、娘二人を社会人にし、夫と一緒に宇都宮に戻り、私たち世代の多くが経験する親の介護や見送りなどを経て、このおはなしを聞いた時、何とちにしている「おはなしおばさん」のうちのひとりです。素話に出逢ったのは二十年近く前にさかのぼります。転居等で中断し、宇都宮に戻つてから、図書館で行われている勉強会に再び戻りました。転居以前は三年弱、戻つてから三年目! 「会」の中では、経験が浅く歳を重ねた新人のようなのです。(笑)

私たち世代の多くが経験する親の介護や見送りなどを経て、このおはなしを聞いた時、何とちにしている「おはなしおばさん」のうちのひとりです。素話に出逢ったのは二十年近く前にさかのぼります。転居等で中断し、宇都宮に戻つてから、図書館で行われている勉強会に再び戻りました。転居以前は三年弱、戻つてから三年目! 「会」の中では、経験が浅く歳を重ねた新人のようなのです。(笑)

現在、図書館で行われるおはなし会に少しずつ参加できるようになりました。地域の小学校では、朝読やお昼休みのおはなし会でおはなしを語っています。クラス単位や学年単位のこともあれば、学年の枠のないこともあります。そして、ちょっとした自然の変化に、例えば、梅の花が輪咲いた! 風が少しあたたかくなる! ……このちょうどしたことがうれしくてうきうきするのです。「春を待つ」ことを知った私……つまり歳を重ねた私が、再びこのおはなしを聞いた時、小さな白菜が、何で自分だけ残されるの? 皆と一緒に連れていつて! という思い、そしてお兄さんの優しい心、優しさ。それぞれ別の会ですから、同じおはなしのこともあります。たとえ同じおはなしでも、語る人によって違いますし、聞いている私自身の気分でも違います。不思議です。

このおはなしを聞いた時、小さな白菜が、何で自分だけ残されるの? 皆と一緒に連れていつて! という思い、そしてお兄さんの優しい心、優しさ。それぞれ別の会ですから、同じおはなしのこともあります。たとえ同じおはなしでも、語る人によって違いますし、聞いている私自身の気分でも違います。不思議です。

このおはなしを聞いた時、小さな白菜が、何で自分だけ残されるの? 皆と一緒に連れていつて! という思い、そしてお兄さんの優しい心、優しさ。それぞれ別の会ですから、同じおはなしのこともあります。たとえ同じおはなしでも、語る人によって違いますし、聞いている私自身の気分でも違います。不思議です。

このおはなしを聞くことで、見える世界が違つてきたような気がする。今の私が語ったの! ということを語つた方とも「十年近くの人生を経てきたのです。誰もが一日生きて成長しているのですね。「おはなしの魅力」を改めて感じた出来事でした。

「ちいさなほくさい」

「おいで、もんづる蝶」より

作・工藤直子 絵・佐野洋子 築摩書房

出典の引用で部漢字よさせました。

素話とは:昔話などの物語を、語り手が覚えて語るもので、ストーリーテリングとも呼ばれます。

「おはなし玉手箱スリヤ」プログラムより



今回は、2014年3月に教育学科を卒業されました。新井真生さんにメールで取材させていただきました。

先輩にインタビュー



日々変わっていく教育の在り方だけれど、なければならぬことがたくさんあります。子ども過ごす時間におもしろさを感じたので目指しました。

★仕事をしていく、やりがいを感じたことは何ですか？

最近感じたことなのですが、「先生大好き！」満足してはいけないということです。たくさん言てくれるのももちろん嬉しいです。しかし、教師としてやはり一番嬉しいのは、勉強や生活指導の中で、自分の指導に子どもが応えてくれた時です。「できるようになった！」分かるようになつた」という声が聴けると、悩んだり考えたりして良かったなと思います。

新井さんは今井先生のゼミに所属し、小学校教諭を目指して必要な授業をたくさん受講していました。他にも文化学や歴史学に興味を持っていたため、他学科の授業も積極的に受講していたそうです。卒論はワーランドの家庭教育について執筆されました。自分自身が好きで選んだ卒論や授業はとても楽しく、一生懸命取り組むことができたそうです。

現在は相模原市で小学校教諭として働いていらっしゃいます。

★学生時代どのように過ごされていましたか？

バイトやボランティア、土曜は吹奏楽団の練習と忙しく過ごしていました。また、長期休みは必ず国内外問わらず旅行に行っていました。3回ワーランドに行つたことが一番の思い出です。振り返ると我ながら多忙な日々でしたが、本当に充実していました。

★学生時代にしておくべきことはありますか？

皆さん言つていると思いますが、やりたいことに思いつき打ち込むことが一番です。大学は自分でやりたい勉強をでき、そしてやりたいことをする時間がある唯一の時だと思います。しかし気をつけてほしいのは、やりたいことをなんでもかんでもただこなすのではなく、やつた後に得るもの自分で実感できるような行動をすることです。世界の広がりがあり、人とのつながり当たり前だと学んだことがなければ、ただの遊びで終わってしまいます。

★なぜ今の就職先に決められたのですか？

小学校の先生を選んだのは、教育という文化を興味深く感じたからです。子どもが好き、だけではやつていけない職業です。一人一人に合った関わり方をしなければいけないことだったり、

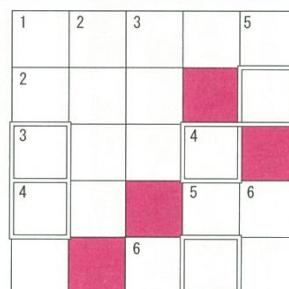
★学生の皆さんにメッセージをお願いします。
学生生活は楽しんでいますか？私は学生の時に思つくり打ち込むことが一番です。大学は自分でやりたい勉強をでき、そしてやりたいことをする時間がある唯一の時だと思います。しかし気をつけてほしいのは、やりたいことをなんでもかんでもただこなすのではなく、やつた後に得るもの自分で実感できるような行動をすることです。世界の広がりがあり、人とのつながり当たり前だと学んだことがなければ、ただの遊びで終わってしまいます。

* 今回の取材を通して、社会人とはどういふうののかを改めて理解したり、自分の学生生活を見直したりすることができました。最後になりますが、忙しい中、突然の取材に快く応じて下さった新井さんに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました！

（学生委員3年 小石川千裕）

クロスワードパズル

5文字を組み合わせてできる言葉のヒント！
「毎朝これをしてあると気持ちよく出かけられますね」



<ヨコのカギ>

- AKB48の劇場はどこにある？
- 土地と土地の区切り。大阪弁でもよく出てきます。
- 一年の始まりの日。
- 陸地が水と接する面。
- 劇場等で舞台の前に垂らす布。お相撲さんなら「○○内」に入りたいなあ。
- 江戸時代、キリスト教徒を見分けるために踏ませたもの。

<タテのカギ>

- 昨年の秋からスタートした日本女子大学の創設に尽力した広岡浅子さんがヒロインのNHK連続ドラマのタイトルは？
- 年に4回、発行される雑誌などのこと。
- アルプスの少女○○○。
- お酒を飲むときに食べる軽い食べ物。ビールなら枝豆、ワインならチーズかオーブル生ハムか。
- あれば苦あり。
- 高額な白身の魚。鍋に入れるととっても美味。

◆解答を同封のハガキに書いて送ってください

正解者10名に図書カードを贈呈します。（正解者多数の場合は抽選）

◆前回の正解はくゆうやみでした

たくさんのご応募ありがとうございました。

【当選者発表】（敬称略・数字は回生）

中原勢津子（18）菊本 朗代（26）山下 時子（27）陶山 葉子（28）工藤 典子（29）阿部 一美（29）佐野加奈子（59）芦野 恵理（64）山関 藍（64）根岸はるか（65）

締め切り
5/13(金)
必着

